

かごしまの巨木と出逢う



あなたに出逢えてよかった

今日、生きることの深い意味を知る



◇ 日時:令和元年12月1日(日)

◇ 講師:佐伯 直憲氏(樹木医)

◇ 主催:フォレスト22

(鹿児島県森林ボランティア団体)



樹木医と巡る 名木・巨木見学ツアー in 南大隅・錦江・肝付



貴重な経験をおしみなく語る



佐伯 直憲氏(樹木医)

巨木を深く知り、そして学ぶ

今回で、「樹木医と巡る名木・巨木ツアー」も第7回目となりました。

早いもので、バスツアーを初めて7年が過ぎました。この間、県内の多くの名木・巨木たちとの素晴らしい出逢いがありました。

今回は、晩秋の南大隅・錦江・肝付地区の名木・巨木を訪ねる旅です。

訪れる巨木は、幾世代も、地域の人々が見守り、時を重ねてきた身近な存在です。最近、「見守り」の意味を考えるようになりました。見守るとは、いつも傍にいて、気付いてやることだと思います。一緒に過ごしてきた地域の人々と巨木の深い生命(いのち)の絆がここにはあります。

それと同時に、

樹木医は専門的な立場で樹の生命(いのち)を守る取組み行っています。

その巨木たちを守る活動を通して、生きることの難しさ、その深い意味に気付いていただければと思います。

今回も、Dr. サエキが優しく丁寧にご案内いたします。

皆さん、より多くの気づきや感動を持ち帰ってください。

そして、自分のふるさとや身近な地域の良さに目を向けてくださったら嬉しく思います。

さあ、出かけましょう！



南蛮船係留の大楠

(オオクス)



南蛮船係留の大楠は、昭和43年に町指定天然記念物に指定されています。幹周は9、8mで高さは約17mで雄川の河口沿いの国道沿いに生育しています。

雄川の河口は、天然の良港で唐や南蛮、琉球と貿易をしていた。当時入港した南蛮船は、この橋にとも綱を結び、交易品を陸揚げしたといわれている。

クスは、常緑高木で本州、四国、九州の暖地でみられるが、野生かどうか解らず、中国江南地方の原産ともいわれるがこれも不明です。



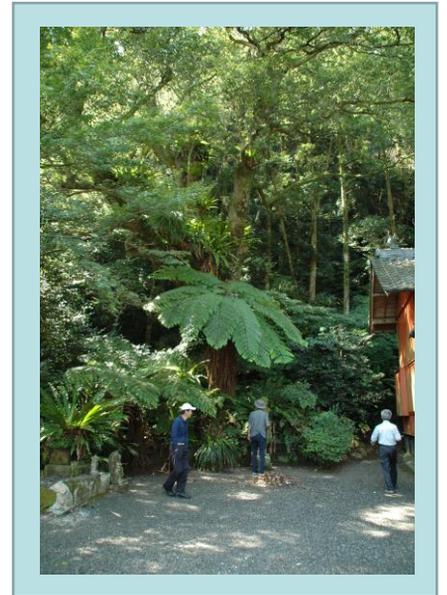
メモ欄



川南諏訪神社の社叢林



絶滅危惧種のヘツカラン



並立鳥居のある川南諏訪神社の社叢林は、ヘゴ、クス、クワズイモ、リュウビンタイ等の暖帯南部の植物が生育している。樹木には、絶滅危惧種のヘツカランが着生しており貴重な社叢林です。

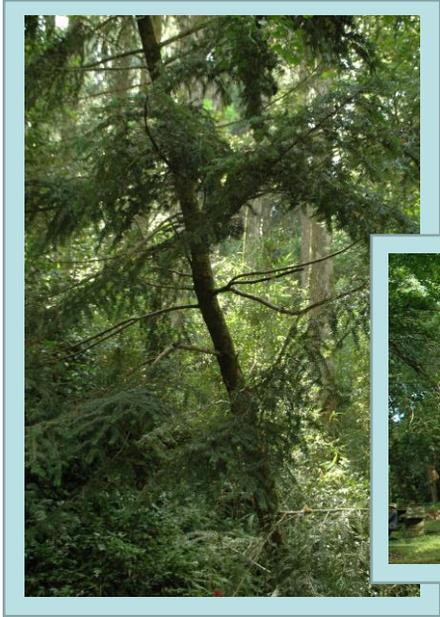


昼食(花瀬でんしろう館)





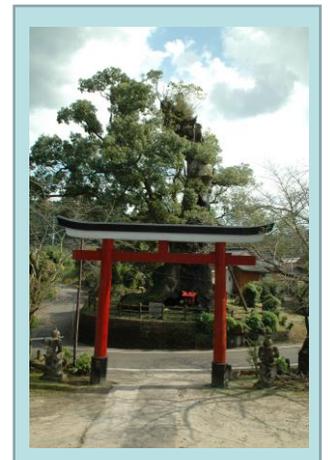
若宮神社の社叢林



若宮神社の社叢林は、クス、スギ、ムクロジ、イヌマキ、カヤ、の大きな樹木があり昭和54年町指定天然記念物に指定されました。



旗山神社 (クス)



旗山神社のクスは、昭和47年町指定天然記念物に指定されました。樹高25m、幹周16mで、オオタニワタリ等数種類の植物が着生して幹は空洞化しています。

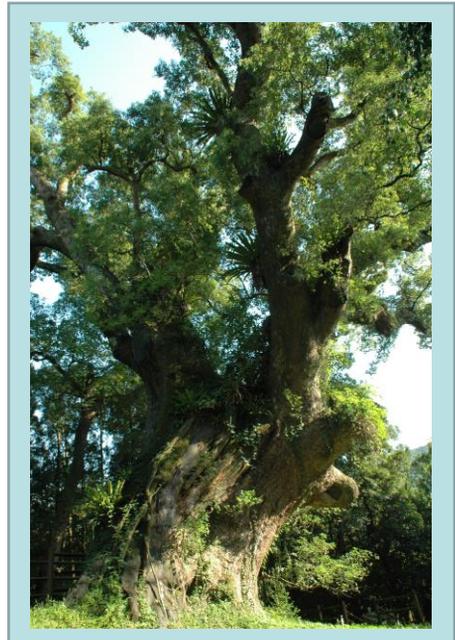
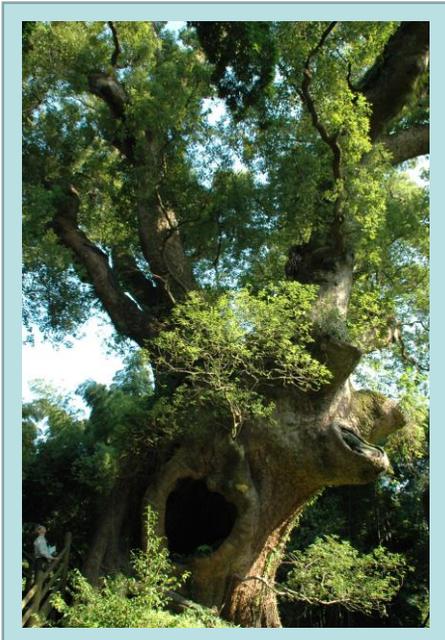
神社の創建が平家の落人が住み着いた鎌倉時代といわれ、由緒ある神社です。

また境内には、イチヨウの大木があります。



塚崎のクス

(クス)



塚崎のクスは、昭和15年に国指定天然記念物に指定されました。幹周14m高さ約25m、樹齢1300年で鹿児島県内にある国の天然記念物の4本のうちの1本です。このクスは、国の史跡の上に国の天然記念物が生育しているという面白い生育状況です。

オオタニワタリという大型のシダ植物が着生しており、樹勢も良好です。根元側の空洞は、ハートのような形です。

また、北側の山林には、古墳が散在し時間があれば散策したいと思います。